



Rotary



MATSUMOTO EAST

2024-2025年度会報
会長/飯島司 幹事/小林あや

10月4日(金)の予定
雑誌評論、米山特集
10月11日(金)の予定
ガバナー公式訪問

2024. 9. 13. No. 8 通算No.1848

事務所/松本市深志 1-1-21 中田歯科ビル 5F
TEL:0263-36-7737 FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ 例会日/金曜日 12:30

委員長/土屋久 副委員長/館島豪
委員/百瀬敏男 小林正樹
太田隆治 眞峯透



【ガバナー補佐事前訪問記念例会】

司会

点鐘 12:30 中信第一グループ 柴田ガバナー補佐

国歌「君が代」「奉仕の理想」 斉唱

ゲスト: 中信第一グループガバナー補佐 柴田博康君

ビジター: ガバナー補佐幹事 征矢芳友君 (松本城 RC)

乾杯

ホテル・ブエナビスタ

百瀬敏男会場監督委員

共演で締めくくられました。

今回のコンサートは、単なる音楽の催しではなく、地域の文化振興と芸術支援の一環として非常に意義深いものでした。当クラブは協賛として協力していますが、このような支援を通じて、私たちロータリークラブが地域の文化や芸術を支えることの重要性を改めて考えさせられました。国際ロータリーも、社会奉仕の事例として人々の生活の質を高めるための文化活動の支援を奨励しています。今回、佐々木会員が音楽を通じて目標としている地域づくりを少しでも理解できたと思います。皆様も次回はぜひ参加して、天満敦子さんのヴァイオリンのすばらしさを体験し、この意義ある活動を実感していただきたいと思います。

本日はガバナー補佐訪問です。中信第一グループガバナー補佐柴田 博康様、どうぞよろしくお願ひいたします。

幹事報告

小林あや幹事

- 10月よりブエナビスタでの理事会等、会議で提供されるコーヒー紅茶の料金が、物価上昇に伴い 545 円から 605 円に値上げとなります。
- 中信第一グループのIM・会員セミナーが11月16日(土)ホテルブエナビスタにて開催されます。ホストクラブは松本城RCです。多数の皆様ご協力ご参加をお願い申し上げます。
- 例会変更については、引き続き現在どのクラブでもビジター受付は実施されていません。

出席委員会報告

高波委員長

本日9月13日 欠席6名 出席率約 80.65%

ニコニコBOX報告

初山委員長

- ・お世話になります。柴田博康ガバナー補佐
 - ・柴田ガバナー補佐、征矢補佐幹事お忙しい中來訪いただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひします。飯島会長
 - ・柴田ガバナー補佐さん、ようこそ！百瀬敏男君
 - ・柴田ガバナー補佐、征矢補佐幹事ご來訪ありがとうございます。高波君
 - ・RMF ロータリーアンメタルヘッドフェローシップよりピンバッジが届き正式に入会が承認されました。小畑君
 - ・11日の市民タイムス一面で放光寺カルタの記事が出ました。ありがとうございます。越場君
- [会員誕生]北澤君 [結婚記念]小林正樹君、福田君 [皆出席]福田君 [前回欠席]福田君、高木君、眞峯君 [何となく]小笠原君 [写真掲載]村山君、初山君、三澤君



会長挨拶 飯島会長



9月7日に開催された天満敦子さんのヴァイオリンコンサートに行ってきました。佐々木会員が実行委員長を務め、当クラブも協賛したこのコンサートは、天満さんの演奏を通じた素晴らしい文化イベントでした。

コンサート当日、天満さんが杖を持ち、ピアノ伴奏の狭間由香さんに手を引かれながら舞台上に登場された時、どうしたのだろうと驚きました。演奏の合間のトークで、天満さんは体調を崩し、物を持つことすら困難な状況になっていたと話されました。2021年秋から体調が悪化し、赤ちゃんのようにハイハイしかできなくなったそうです。頸椎の損傷が判明し、2022年3月に手術を受けて、首を固定するために12本の金属を挿入し、その後半年に及びリハビリを経て、ようやく杖を使って歩けるようになったそうです。天満さんは首を左右に動かさず、まっすぐ前しか見ることができない様子でした。しかし、ヴァイオリンを手にとると、その演奏は圧巻で、「望郷のバラード」や「五木の子守唄」、そしてラストの「ジュピター」などの名曲が迫力をもって会場に響きました。特に「五木の子守唄」は、アレンジが素晴らしくバッハの無伴奏パルティータ「シャコンヌ」を聴いているような、まるで2台のヴァイオリンで演奏しているかのような深い音の重なりが感じられる壮大な演奏でした。最後は四賀混声合唱団と

コンサート当日、天満さんが杖を持ち、ピアノ伴奏の狭間由香さんに手を引かれながら舞台上に登場された時、どうしたのだろうと驚きました。演奏の合間のトークで、天満さんは体調を崩し、物を持つことすら困難な状況になっていたと話されました。2021年秋から体調が悪化し、赤ちゃんのようにハイハイしかできなくなったそうです。頸椎の損傷が判明し、2022年3月に手術を受けて、首を固定するために12本の金属を挿入し、その後半年に及びリハビリを経て、ようやく杖を使って歩けるようになったそうです。天満さんは首を左右に動かさず、まっすぐ前しか見ることができない様子でした。しかし、ヴァイオリンを手にとると、その演奏は圧巻で、「望郷のバラード」や「五木の子守唄」、そしてラストの「ジュピター」などの名曲が迫力をもって会場に響きました。特に「五木の子守唄」は、アレンジが素晴らしくバッハの無伴奏パルティータ「シャコンヌ」を聴いているような、まるで2台のヴァイオリンで演奏しているかのような深い音の重なりが感じられる壮大な演奏でした。最後は四賀混声合唱団と

